

よろこび

日蓮宗 護聖会

本山 妙圓寺

長白山 本誓寺

『よんじぶ』三十五

貫首 齊藤 日軌

二月三日は「節分(せつぶん)」です。この日は季節が移り変わる節日を指しています。年のうちで一番寒いこの季節に日蓮宗では大祈願祭を開催して一年の健康と幸運と安全をお祈りしています。なぜこの寒い日に祈禱するかといいますと、北の大地にそびえ立つとど松を切り倒すと年輪がございしますが、人間もこの一番寒い日の時期は身体に気をつけて過ごさなければなりません。この頃を乗り切れると、一年間を元気で生きていくことができます。

竹には同じように節があります。節分を乗り切ってきたかな竹を丈夫甘くしていただきます。節分を乗り切ってきた人間の年輪も人を強くするのであります。

どうかお寺の本堂で鬼子母神様に、いのり、喜びの一年を過ごしましょう。う。喜びの基礎は健康です。

日蓮宗の節分祈願祭では福は内、福は内と豆まきをします。豆まきで、邪気を払って、幸運を呼び込みましょう。皆さん南無妙法蓮華經、福は内、福は内です。鬼子母神様がお待ちしていますよ。



みおしえ

「この世のものを浄らかだと思ひなして暮し、(眼などの)感官を抑制せず、食事の節度を知らず、怠けて勤めのない者は、悪魔にうちひしがれる。——弱い樹木が風に倒されるように。」

(法句經七中村元訳)

この世のものを浄らかだと思ひ、それにとらわれておると本當の幸福は得られませんが、欲望にとらわれ、人生の毀誉褒貶に振り回されると本當の幸せに至る道を見失います。この世的欲望に振り回されると悲惨な結末に至ることが多くあります。パチンコで借金し自殺する方、私の知り合いの女性は、夜旦那さんと家に鍵をかけ子供だけ残してパチンコに出かけ、火遊びで子供は火事を出し全員焼け死にました。

豪華な宮殿に住み、カシやシロクの美しい庭園に囲まれた上、無常な生活をしています。しかし、太子は人間のいのちの無常な思いをはせると物質的な生活だけでは満足できないものでした。無常な人生の幸福には、限りがありません。その一切が奪い去られてしまふ、人生の最期に死によって永遠の幸せを求められたのです。肉体的この世的快樂、幸福を求め、決しては悪いことではありませぬが、欲望に振り回されず、それをコントロールし、心と物質のバランスのとれた中道の生活をし、静かに自分の心と物質のバランスのとれた中道の有り様を見つけてみましょう。そこに本當の幸福への道があります。

心の言葉

南無妙法蓮華經と唱え中道の生活に入り本當の幸福を見つけてよう

